

令和5年11月17日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆グリーンな栽培体系の取組報告会の開催のお知らせ

【施策情報】

☆農作物の病虫害や雑草の防除には登録のある農薬を使いましょう

☆11月は薬剤耐性対策普及月間です！抗菌剤を正しく使用し、「健康で美味しい」を未来へつなぎましょう

☆「雇用就農資金（令和5年度第3回目）」の募集を開始しました

☆アグリビジネス創出フェアにおいて、ご来場者からのスマート農業に関する相談を承ります

☆「農林水産研究の推進」の最新成果集を公開しました

☆[みどり戦略技術紹介]安価かつ簡便にハウスの遠隔監視に使えるIoT機器「通い農業支援システム」

☆令和6年度予算概算要求における研究委託事業の応募前説明及び個別相談のご案内

【病虫害発生予報の発表について】

☆「令和5年度 病虫害発生予報第9号」の発表について

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆グリーンな栽培体系の取組報告会の開催のお知らせ 【農産局技術普及課】

=====

「グリーンな栽培体系」の関連講演や産地の取組を学べる報告会を令和5年12月14日（木曜日）にオンラインで開催します。「国内資源等を活用した化学肥料の削減」、「土壌消毒の代替技術」、「プラスチック被覆肥料の代替技術」、「J-クレジットに関する技術」の講演のほか、「グリーンな栽培体系の転換サポート事業」を活用している各産地から取組状況を報告します。

普及指導員の皆様の参考になるよい機会かと思しますので、積極的なご参加と周知についてご協力のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○グリーンな栽培体系の取組報告会

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/events.html>

○申込フォーム（グリーンな栽培体系の取組報告会申込フォーム）

https://www.jadea.org/form/green_support_debriefing_reception_form20231214.htm

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局技術普及課（担当：渕上、池田、金野）

（０３－６７４４－２２１８）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆農作物の病虫害や雑草の防除には登録のある農薬を使いましょう

【消費・安全局農産安全管理課】

=====

登録を受けていない農薬を農作物等の病虫害や雑草を防除するために使用することは法律で禁止されています。

普及指導員の皆様におかれましては、登録のある農薬を、ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認して使用するよう、生産者の皆様へのご指導をお願いします。

また、農薬登録がされていないにもかかわらず、何らかの形で農作物等への使用が推奨され、かつ、農薬の効能効果をうたう資材を発見した場合、農薬の効能効果を確認した場合、又は、そのような資材に関する情報を得た場合には、農林水産省（最寄りの地方農政局）までお知らせください。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_sizai/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課（担当：中森、真間）

（０３－３５０１－３９６５）

=====

◆11月は薬剤耐性対策普及月間です！抗菌剤を正しく使用し、「健康で美味しい」を未来へつなぎましょう

【消費・安全局畜産安全管理課】

=====

抗菌剤は、畜産業界において動物用医薬品や飼料添加物として使用され、家畜の健康を維持するために必要不可欠なものとなっています。一方で、抗菌剤が使われすぎたり正しく使われなかったりすると、薬剤耐性菌の発生を引き起こし、細菌を殺したり生育を止めたりする効果がなくなってしまいます。

また、薬剤耐性菌は、家畜・家さんからヒト又はヒトから家畜・家さんに伝播する可能性があるため、日頃の飼養管理での手洗い・消毒の徹底が重要です。

普及指導員の皆様におかれましては、抗菌剤を正しく使用するよう、畜産生産者の方にお伝えいただきますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○動物に使用する抗菌性物質について（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuza/torikumi.html>

○畜産生産者向け薬剤耐性対策普及啓発動画（YouTube）

https://www.youtube.com/watch?v=g_aV3SG8Z-g

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課 薬剤耐性対策班

（担当：福永、白川、飯澤、山下）（０３－３５０２－８０９７）

◆「雇用就農資金（令和５年度第３回目）」の募集を開始しました

【経営局就農・女性課】

４９歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人や個人経営者に資金を助成する「雇用就農資金」の今年度第３回目の募集を開始しました。

【助成額・期間】年間最大６０万円（来年２月から最長４年間）

【募集期間】令和５年１０月２５日（水）～１１月３０日（木）

【申請先・相談窓口】都道府県農業会議等

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様への周知にご協力のほどお願いいたします。

▼詳細はこちら（全国新規就農相談センターHP）

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/

※お問合せ先

農林水産省 就農・女性課（雇用グループ）（０３－６７４４－２１６２）

◆アグリビジネス創出フェアにおいて、ご来場者からのスマート農業に関する相談を承ります

【農林水産技術会議事務局研究推進課】

１１月２０日（月）～２２日（水）にかけて東京ビッグサイトにて開催している「アグリビジネス創出フェア」において、スマート農業技術の導入等に関するご相談を承っております。

事前予約のある方を優先させていただいておりますが、当日フェア会場でのお申し込みも承りますので、スマート農業技術の導入をお考えの皆様、この機会にいかがでしょうか。

また、このほかスマート農業実証プロジェクトの成果に関する展示等を行っておりますので、ぜひこの機会にフェアにお越しください。

普及指導員の皆様におかれましても、アグリビジネス創出フェアにおける相談会の周知等についてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

▼詳細はこちら

<https://www.contactus.maff.go.jp/affrc/form/smart/consultation.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課（担当：齋藤）

（０３－３５０２－７４３８）

=====

◆「農林水産研究の推進」の最新成果集を公開しました

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

農林水産省の委託プロジェクト研究（みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進）の令和５年度版成果集を公開します。

本成果集では、画像センシングによる露地生育診断技術や品種育成を迅速化する新たな育種システムの開発など最新の研究成果のほか、農業分野等においてこれまで幅広く取り組んできた様々な研究の成果を紹介しています。

普及指導員の皆様におかれましても、現場の課題解決に活用いただくとともに、今後の研究課題の設定に向けた情報収集にもご協力のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業（農林水産研究の推進）の研究成果

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/seika/2023/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課（担当：添田、及川）

（０３－３５０１－４６０９）

=====

◆「みどり戦略技術紹介」安価かつ簡便にハウスの遠隔監視に使える IoT 機器「通い農業支援システム」

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

本技術紹介では、みどりの食料システム戦略に貢献する技術を、「みどりの食料システム戦略」技術カタログから毎月一回ご紹介します。

今回ご紹介するのは、安価かつ簡便にハウスの遠隔監視に使える IoT 機器「通い農業支援システム」です。

スマートフォン等によりハウスの情報が確認可能な遠隔監視システムで、生産者自身が安価かつ簡便にシステムを構築できます。ハウスの温度や湿度などのデータを定期的に通知できるほか、栽培環境の異常通知やグラフの傾向から高温・低温障害の防止に役立ちます。本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（分割版：施設園芸）P. 4

安価かつ簡便にハウスの遠隔監視に使える IoT 機器「通い農業支援システム」

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/midori>

[_catalog_engai.pdf#page=4](#)

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室（担当：小花和、田中）

（０３－６７４４－０４０８）

=====

◆令和６年度予算概算要求における研究委託事業の応募前説明及び個別相談のご案内 【生物系特定産業技術研究支援センター】

=====

生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）では、幅広い分野から優れた研究課題を提案していただくことを目的に、令和６年度概算要求における公募事業の概要や課題提案書の作成等における留意点、採択後の事務手続きを動画で説明するとともに、個別相談を実施します。

普及指導員の皆様におかれましても、応募前説明及び個別相談のご案内についてご協力のほどよろしくお願い致します。

▼詳細はこちら

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/event/159753.html>

※お問い合わせ先

生研支援センター企画課（担当：山本・宇賀神）

（０４４－２７６－８５９４）mail: brain-guidance@ml.affrc.go.jp

++・…… 病虫害発生予察の発表について ……・++

=====

◆「令和５年度 病虫害発生予報第９号」（令和５年１１月１５日（水）付け）を発表しました 【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、向こう１か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第９号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○向こう一ヶ月の発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

・野菜・花きのハスモンヨトウ：南関東、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域

この他、オオタバコガ等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○次期作に向けた対応について

翌年の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。

▼詳細はこちら

・都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和５年度 病害虫発生予報第９号」の発表について（令和５年 11 月 15 日
付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/231115.html>

○これまでの病害虫発生予報についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 (担当: 岡田、城野、吉田、河合)

$$(0\ 3\ -3\ 5\ 0\ 2\ -3\ 3\ 8\ 2)$$

* * * * *

編集後記

* * * * *

農林水産省のホームページのトップページにさりげなく「こよみを知る」コーナーがあるのを御存じだろうか。このコーナーは 1 年を季節の変化で区分した「七十二候」に基づき、その時期の「時節」を紹介している。例えば、第五十六候（11 月 12 日～16 日頃）は「地始凍（ちはじめてこおる）」、「冬の訪れがはっきりと肌で感じられる時節」とある。

11月に入っても夏日が続き、「今年の気候はどうなるのだろう？」と思ってい
たら、次は12月初旬の冷え込み、最近、ようやく平年並みの気候となり、第
五十六候の「時節」と合ってきたと感じる。さあ、いよいよ鍋の季節の到来だ。
寒さに当たって野菜は甘く、鯛、サバなどの魚は脂が乗って美味しくなる頃、全
国の鍋奉行の皆様方、いよいよ出番です！

◎編集担当T◎

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。